



岡田 聡 議員

教育のあり方と課題は

教育長

バランスの取れた人間を育成する

【岡田】本町の将来を担っていく、かけがえない子ども達の教育方針は。

【教育長】保・小・中の連携による、知・徳・体のバランスの取れた人間の育成。そして、大山の自然・歴史・文化・人々の知恵など大山の恵みを生かしたふるさと教育の推進による特色ある教育である。

【岡田】教育課題の改善策が必要だが。
【教育長】本町の子どもは、素直で優しい反面、「指示待ち」や「思いを素直に表現できない」といった傾向がある。子どもたちの姿や各種調査データに基づき、子どもたちが主体的・対話的で深い学びが実現できるよう授業改善をはかり、今日の学習が「解った」「出来た」と実感できるようにして行く。



きめ細かい指導で充実した授業

【岡田】一人一人の支援も時には必要だが。
【教育長】県は加配教員を、町は学習支援員などを配置し個別の支援体制を組んでいる。

介護保険制度

改正への対応は

町長

事業計画策定委員会で検討する

【岡田】政府は経済・財政一体改革で、制度の持続可能性を確保するために、社会保障費削減を目標に改正を行った。地域包括ケアシステムの深化・推進が求められるが、具現化にどう取り組むのか。

【岡田】初期認知症対策や介護予防のために、高齢者がいつでも集えていろいろなことができる場の提供はできないか。

【町長】集って何かをする、刺激を受ける事は有効と思う。考えてみる。

【町長】国から提供されるデータを分析し、介護保険事業計画策定委員会ですべての取り組みと併せ、介護予防、重度化防止などの取り組み内容を検討する。
【岡田】健康対策や介護予防に財政的インセンティブ付与が効果的だが、導入は。
【町長】国・県の動向を見ながら考えたい。



適度な運動でいつまでも若く